

令和3年度

# 学校関係者評価委員会報告書

評価対象期間

自：令和3年4月

至：令和4年3月

令和4年6月

学校法人菊武学園

専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院

学校法人菊武学園 専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院 学校関係者評価委員会は平成3年度（2021年度）自己評価報告書に基づいて学校関係者評価委員会を実施致しましたので、以下のとおり報告致します。

1. 日 時：令和4年6月2日（木）10時～12時

2. 場 所：本校4階ブライダルサロン

3. 出席者：学校関係者：

榊原 哲夫（ブライダル業界関係者）

井上 幸信（フラワー業界関係者）

天野 民子（ビューティ業界関係者）

梶原 幹史（有識者/元高校教員）

後藤 潤 （卒業生/同窓会長）

学内委員：

中川 信子（校長）

森田 武志（学事課長補佐）

鈴木 順子（事務課長）

欠席者：なし

4. 配布資料：令和3年度自己評価報告書

入学・就職・中退報告書

2022年度学校案内パンフレット

後援会便り

## 「建学の精神」 「学校理念」 「学校目的」 「育成人材像」

### 学校法人菊武学園 建学の精神

本学園の建学の精神は「職業教育をととして社会で活躍できる人材の育成」であり、本校教育の基盤である

### 学校理念

「本物志向の教育」、「国際教育・教育の国際化」、「師弟同行を踏まえた教育活動」、「学校文化」

### 学校目的

豊かな感性、高い道徳心、たくましい心身を持って、地域社会において信頼される人間、かつ、自分の一生において果たすべき役割を自覚し、進むべき道を主体的に切り開く人間の育成

### 育成人材像

1. 地域社会、国際社会の動向に目を向け、より良い社会の実現に向けて主体的かつ積極的に行動し、貢献することができる
2. ブライダル・フラワー・ビューティの各分野における専門性の基礎となる幅広い教養を深め、専門的な知識・技術・職業理解を身につけている
3. 他者を尊重し、多様な価値観を受け止め、様々な人々と円滑にコミュニケーションを図ることができる
4. 自らを律し、課題を発見し、他者と協働して課題解決のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる
5. 身につけた教養や専門性をもって他者に寄与できることの幸福やその重要性を深く理解することができる豊かな人間性を有している

## 評価項目の達成及び取組状況

### (1) 教育理念・目標

評 価 項 目	適切＝4		ほぼ適切＝3	
	やや不適切＝2	不適切＝1		
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・関係業界・保護者等に周知がなされているか	④	3	2	1
学科の教育目標・人材育成像は、業界のニーズに向けて対応しているか	④	3	2	1

○本校の理念・目的・育成人材像が、本校教育活動の根幹をなしており、それらを実現すべく教育活動に日々、取り組んでいる。

○専門分野に関する深い知識と高い技術を身につけさせることに加えて、社会人・職業人としての良識を備えた各業界で活躍できる人材の育成に真摯に取り組んでいきたい。

#### 今後に向けての方策

○各業界のニーズの変化に注目し（BA求人の減少/ブライダルフォト・ジュエリー関係の求人の増加など）、その変化に対応できるよう学生指導を展開していきたい。

#### ■学校関係者評価委員会コメント・質疑

○若者のコミュニケーション能力低下が叫ばれるようになってきている。その点に特に留意して、日々の教育活動を展開している。(学内委員 中川)

○学生に関しては、メンタル面での弱さを感じられる。立派な社会人として育てるためには、当人には厳しく響くことも伝えなければならない。学校外の活動、例えばアルバイトなどの機会を通して、精神的な強さを身につけて欲しいと願っている。(天野委員)

○フラワー業界は、他の業界に比べて1年ほど遅れて売り上げ状況などが動く傾向がある。現在コロナ前の状況へ様々な業界が戻っていく中、一年後くらいにフラワー業界も正常に戻るのではないかと考える。ただ、売り上げの低迷などで作付けが減らされており、フラワー業界の販売状況がコロナ前に戻った時に供給が足りるのかという不安がある。そのような状況を見据えての、教育内容・目標が必要ではないか。(井上委員)

## (2) 学校運営

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2	不適切 = 1		
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	④	3	2	1
人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

○より良い学校運営を目指し、毎年、運営方針・事業計画を策定している。

○運営組織内の配置に関しては、手薄な分掌が発生しないように十分に留意している。

○教育活動等に関しては、本校のHPを通して随時発信中。

### 今後に向けての方策

○教育活動等に関する情報公開に関しては、より発信の頻度をあげていきたい。

### ■学校関係者評価委員会コメント・質疑

○「学校運営」に関しては、評価委員より妥当と評価され、ご意見はありませんでした。

## (3) 教育活動

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2	不適切 = 1		
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
各学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
授業評価の実施体制はあるか	④	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
成績評価・履修認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

○関連分野の企業・関係施設等との連携により、カリキュラムの見直し等を適宜行っている。

○学生による授業評価については、年に2回実施。次年度の授業内容改善に向けての糧となっている。

○資格取得については資格試験直前対策授業を集中的に行い、合格率を高められるよう配慮している。更なる合格率アップに向けて努力を続けたい。

○学園主催の教職員研修が年に数回実施されている。

#### 今後に向けての方策

- 校内教職員研修会を通して、学生指導力や学生募集力の能力を高めていきたい。
- 令和4年度に教育課程変更届提出の予定。

#### ■学校関係者評価委員会コメント・質疑

- コロナ禍にあって業界のニーズも大きく変化してきていることを考慮し、本校の教育内容の変更も考慮すべきだと考える。実社会で求められる人材育成のために、より充実したカリキュラムを組んでいただきたい。  
(梶原委員)

#### (4) 学修成果

評価項目	適切=4		ほぼ適切=3	
	やや不適切=2	不適切=1		
就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1

- 就職に関しては就職活動が本格化する1年次の冬に向けて、業界研究・履歴書の書き方・就職面接等の指導を丁寧に行っている。
- 退学率の低減に向けて、問題を抱える学生への早期対応を実施している。

#### 今後に向けての方策

- 卒業生の動向に関しては、卒業生本人や就職先企業より現況情報を得ている。離職後の動きが追えないこともあるため、再就職に向けてのサポートを適宜実施できるようにしていきたい。

#### ■学校関係者評価委員会コメント・質疑

- 「学修成果」に関しては、評価委員より妥当と評価され、ご意見はありませんでした。

#### (5) 学生支援

評価項目	適切=4		ほぼ適切=3	
	やや不適切=2	不適切=1		
進路に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	4	③	2	1
学生への経済的な支援体制は整備されているか	4	③	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1

- 春に健康診断を実施（全学生・全教職員対象）。また、毎年4月に学生健康調査を実施。これらの結果を踏まえて、卒業までの2年間の学生健康管理を適切に行っている。
- 経済的な支援には、日本学生支援機構の奨学金、国の教育ローン（日本政策金融公庫）などがある。本校では指定校推薦・公募推薦の高校推薦入試枠に対しての学費減免制度を設けている。更に、特待生制度利用による学費減免も用意している。多くの学生が利用している。

### 今後に向けての方策

○保護者との連携に関しては、学校（主に担任）との連絡を密に行うことを通して、本校教育内容及び就職指導に関する疑問を払拭していきたい。

### ■学校関係者評価委員会コメント・質疑

○「学生支援」に関しては、評価委員より妥当と評価され、ご意見はありませんでした。

## （6）教育環境

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2	不適切 = 1		
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

○施設・設備に関しては、3分野の実習授業で必要となるものを完備している。

※令和3年3月に、1階の応接スペースをパーティースペースへ変更。

○学外の実習授業・インターンシップ、海外研修の場等については、関連分野の企業との連携のもとに研修場所を確保している。

○防災に対する意識を高めるよう指導している。

### 今後に向けての方策

○施設設備に不備がないよう留意し、教育環境を確実に整備していきたい。

### ■学校関係者評価委員会コメント・質疑

○フラワービジネス科の実習教室も使い勝手など問題ないと思う。但し、今後、改修の予定があれば、鏡面を教室に多く設けることを提案したい。そうすることによって、花束などの作品を様々な角度から見る事が出来るであろうし、教室を広く開放的に見せる効果もあるため。（井上委員）

## （7）生徒の受入れ募集

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2	不適切 = 1		
高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	④	3	2	1
学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

○高校訪問等を通して、在校生の学習状況、就活状況、また卒業生の動向について説明を行っている。

○学びに対して意欲的な学生をサポートしたいとの思いから、学費減免のある高校推薦入試を紹介している。毎年、希望する学生が多い。

○学生募集活動において、取得可能資格や就職先等についての説明を行っている。

## 今後に向けての方策

○他校にはない本校独自の教育内容について、より理解していただけるよう鋭意努力していきたい。

### ■学校関係者評価委員会コメント・質疑

○教育活動を地道に続け発信していくことが、学校の永続性につながると思う。そのためには、パブリシティの強化が必要になると考える。(梶原委員)

○WEB上に、高校生以外への発信ページを作成してもいいのではないかと。社会人、大学生などを対象とした募集をもっと検討してもよいと思う。(井上委員)

## (8) 財務

評価項目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2	不適切 = 1		
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

○学校の収入源の第一は学生生徒等納付金収入であることから財務の基盤は在籍数となる。

コロナ禍において学生募集活動が十分に行えない現状ではあるが、できる限り学生確保に向けて活動を行っている。

○経費削減に努め、当年度収支差額はプラスを維持している。

○学園本部による内部監査が年2回、公認会計士監査が年3回行われ、適正な会計処理を行っている。学園の財務情報はHPにて公開されている。

## 今後に向けての方策

○財務基盤の安定のため、オープンキャンパス参加者数増加を目指し、新たな広報渉外活動を実施していきたい。

※交通費補助/在校生トーク/OC実施回数 など

### ■学校関係者評価委員会コメント・質疑

○少子化が進む中、学生募集が困難になってくると思われる。充実した授業内容や真摯な学生指導など、この学校の魅力をしっかり伝えることが学生数確保、学校の財政基盤の安定化につながる。(梶原委員)

## (9) 法令等の遵守

評価項目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2	不適切 = 1		
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

- 法令、専修学校設置基準等を遵守し、円滑な学校運営を行っている。
- 個人情報に関しては、学生及び教職員に関する一切の情報の持ち出しを禁止している。
- SNSを利用して広報活動を行う機会が多くある。学生の写真等が掲載される場合には、事前に掲載の可否を必ず本人に確認している。
- 自己評価は、2020年より公開し、問題点に関しては教職員で共有している。

**今後に向けての方策**

- 自己評価結果を踏まえて、それを次年度へ活かしてゆく体制をより整えていきたい。

**■学校関係者評価委員会コメント・質疑**

- 「法令等の遵守」に関しては、評価委員より妥当と評価され、ご意見はありませんでした。

**(10) 社会貢献・地域貢献**

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2	不適切 = 1		
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
学生のボランティア活動を奨励しているか	4	③	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

- 最近の社会貢献・地域貢献については、以下の通りである。

- ブライダルビジネス科・・・本物の結婚式プロデュースの実施（無償）
- フラワービジネス科・・・星ヶ丘テラス/ガーデン施工（無償）
- トータルビューティ科・・・校内ビューティサロン（1コイン）

**今後に向けての方策**

- 学園の姉妹校とともに、ウクライナ支援活動を予定。

- 募金・花（ひまわり）販売等

**■学校関係者評価委員会コメント・質疑**

- 2021年には、聾学校の生徒が本校を訪れ、学校見学をおこなった。このような形などで、地域に対して貢献できる可能性があるのではないかと考える。（榊原委員）